

鹿児島与論会創立 80 周年記念式典及び祝賀会



日時 平成 19 年 11 月 18 日
午前 12 時～16 時
場所 ジェイドガーデンパレス
鹿児島市上荒田町 19 番 1 号

記念式典式次第

1. 開式のことば
2. 郷土遥拝
3. 感謝状贈呈
4. 感謝状受賞者謝辞
5. 会長あいさつ
6. 経過報告
7. 来賓祝辞

- | | |
|------------|--------|
| ① 与論町長 | 南 政吾様 |
| ② 全国与論会々長 | 竹本 登様 |
| ③ 衆議院議員 | 保岡 興治様 |
| ④ 衆議院議員 | 徳田 毅様 |
| ⑤ 鹿児島県議会議長 | 金子万寿夫様 |

8. 来賓紹介
9. 祝電披露
10. 閉式のことば

休憩 10分



与論町町民歌

一、
黒潮はるかに 明けわたり
朝日に燃える さんご礁
自然のめぐみ 拓きつつ
あかるく進む わが与論
ああ この空に この海に
みんなの夢が あふれてる

二、
港に世紀の 声すれば
畑にキビの 茂るうた
玉なす汗も うつくしく
ゆたかに伸びる わが与論
ああ この島に この土に
まことの花が 咲き香る

三、
名残りもゆかしい 城の跡
あこがれ寄せる 百合ヶ浜
むかしをしのび 今を知り
心をむすぶ わが与論
ああ この町に この郷に
かがやくあすが 待っている

来賓ご芳名紹介

役職名	ご芳名
衆議院議員	保岡興治 様
衆議院議員	徳田 毅 様
鹿児島県議会議長	金子万寿夫 様
与論町長	南 政吾 様
同上令夫人	南 英子 様
与論町議会議長	町田末吉 様
与論町農協長	池田 稔 様
与論町観光協会長	田畑克夫 様
社会福祉法人光与会理事長	池田三千彦 様
武東建設社長	武東範光 様
南栄建設協同組合代表理事	川畑益雄 様
元与論郵便局長	永野展秀 様
鹿児島奄美会々長	大野照好 様
東京与論会顧問	佐藤持久 様
全国与論会々長	竹本 登 様
東京与論会副会長	叶 生二 様
同上令夫人	叶 千代子 様
東京与論会幹事長	竹内英健 様
東京与論会相談役	山下政宏 様
東京与論会相談役	村田 健 様
東京与論会幹事	山下清男美 様
東京与論会副会計	堀行洋子 様
東京与論会監査役	本園金盛 様
関西与論会顧問	池田住吉 様
関西与論会顧問	高井泰彦 様
関西与論会相談役	高井哲郎 様
関西与論会々長	益山 浩 様
関西与論会婦人部長	益山敏子 様
関西与論会幹事	濱まつ枝 様
元大牟田荒尾地区与論会々長	山田一男 様
同上令夫人	山田恵美子 様
名瀬与論会々長	坂元秀徳 様
沖縄与論会々長	福 嶺住 様
沖縄与論会幹事	鬼塚宮明 様
沖縄与論会副会長	鬼塚律子 様
沖縄与論会副会長	平安アエ子 様
鹿児島市市会議員	幾村清徳 様
鹿児島市市会議員	政田けいじ 様
医療法人与州会理事長	柳田琢也 様

80周年記念・祝賀会プログラム

第一部 13:00~14:30

- 1 かぎやで風 遠矢節子 山元幸江 [玉城流]
- 2 四つ竹 馬渡ヨ子 大迫三菜 斎野要子 名嘉永子 直 加奈恵
[宮城流 新里琉球舞踊教室]
- 3 あばれ太鼓 向井広子 [英流]
- 4 一 剣 山田カツ子
- 5 フラダンス メノ・オブ・マイ・ツツエ 小原和代 山田頼子
- 6 詩 吟 金城流・名槍日本号 仁 光子
- 7 君は海鳥渡り鳥 酒匂健進
- 8 名も無い花に乾杯 江藤ユリ子 川田栄子 西村キヨ子
- 9 櫛の鳩間 大迫三菜 新里清美 [宮城流 新里琉球舞踊教室]
- 10 ユンヌ昔物語「サービマートウイ」
出村立一 町永春樹 山本光毅 大田純加 福地満哉 佐藤一成
竹下清哉 吉川秀樹 (語り) 東郷美南
- 11 歌謡ショー
「ラブ・イズ・オーバー」「珍道物語」 唄：福 まゆみ
「涙そうそう」「与論島慕情」「女みなと節」 唄：古宮美鈴 (日本コロムビア)
(バンド) ゆんぬミジラシャーズ
ギター：田原崇志 ピアノ：東郷道成 ドラム：町田 孝 ベース：桑畑秀教

第二部 14:30~15:50

- 1 エイサー [うるまエイサー] 遠矢節子 他多数
- 2 与論献奉 [鹿児島与論会青年部]
- 3 ユンヌ唄遊び
「よろんラップ節」「ニゾヨイ・カナヨイ」「ウムヤガ・キュンドー」
「ヨーテー節」「グシャク・ヘンヨー」
三味線：徳田久保富 田畑徳吉 山下満雄 酒匂泰三 田畑榮次
唄：田畑玲子 田畑カメ子 徳田ツル 山下千枝
- 4 次世代の唄者
「わらび神」 三味線：山下ゆりか 唄：福 まゆみ
- 5 他与論会・その他からの飛び入り
- 6 ふるさとを歌おう (ご来賓のステージ)
- 7 みんなで踊ろう「カチャーシー」
三味線：田畑徳吉 酒匂泰三 太鼓：仁 光子 田畑稔雄
ドラム：町田 孝

閉 会 万歳三唱 閉会の挨拶

16:00

与論昔物語（ムヌガツタイ）

演題 「サービマートウイ物語」

（語り） 何時の頃か、時代はさだかではないが、与論が琉球の支配下にあつた時代のことです。その頃琉球王国は唐の国（いわゆる今の中国）との関係が強く、盛んな交流があつたのであります。しかし、琉球王国にとっては大国との付き合いで、無理難題を強いられることが沢山ありました。また、琉球国内でも南山王、中山王、北山王の三国の間でいさかいが絶えませんでしたので国民は嫌気をおこし、不満が渦巻いていました。人々の中には国を捨て、村を捨て、家を捨てて新しい生活を求めて逃げる者があとを絶たなかつたのであります。

☆ 或る月夜の晩、一人の男がハキビナの浜にサバニを漕ぎ着けて来ました。暫くあたりを見回すと無言のまま、サバニを裏返し、頭上高く差し上げて、すたすたと陸へと歩いて行きました。

その男の名は「サービマートウイ」 琉球は北山城、つまり、今帰仁城下では知らない者はいない程の武将で、計り知れない力の持ち主でありました。

マートウイ三十歳半ば、働き盛りの彼は、城原（グスクバル）に住み着いてよく働き、誰からも好かれ、尊敬されながら、平凡な日々を送っていたのであります。

☆ ある日、村の人々の間から、マートウイと村の若者達七人と稲刈り競争をさせる話が持ち上がりました。

☆ そして、三反歩程の田んぼの稲刈り競争が始まりました。先に刈り終えたのは七人の若者達でしたが運び出しが始まると、マートウイは刈り取った稲を一束にして軽がると集荷場に放り投げ、勝負はあつけなく終わったのであります。勝負を制したマートウイは約束通り、悠々と、七人分の弁当をもらい、食べようとする七人の若者達が取り返そうと襲ってきたので、マートウイは逃げながら、田んぼを一周する間に七人分の弁当を全部食べてしまったのであります。

その頃、東区方面では漁師の捕ってきた魚が何者かに食べられるという大変困った事が頻繁に起こっていました。

☆ 何時の時代でも「男と女」の間には出会いがあつて恋が芽生え、結ばれます。その頃の与論では、男女の出会いの場として「夜遊」の習慣がありました。若者たちにとって、それはそれは大切なデートの場でもありました。男たちは一日の仕事がおわると夜遊に備えて三味線や唄を習いメーラビの気を引くことに励みました。娘(メーラビ)たちは、遠くから聞こえてくる三味線の音でその主が誰であるかすぐ分かったそうでもあります。娘たちは夕食が済むとござっぱりと身だしなみを整え、居間で夜なべ(ユウナビ) ※大抵は針仕事か、機織りか草履作りなどをしながら遊びに訪れる若者(ニセー)を心待ちするものでありました。そのような若者達の楽しみの場にもイシャトウが現れ邪魔をすることがありました。

☆ 島のあちらこちらで悪さをするイシャトウに業を煮やした長老たちが立ち上がりました。イシャトウをおびき出して懲らしめることにしたのであります。それは、力比べに勝った者に、島一番の娘(メーラビ)と米百俵を差し上げることにする、ということでもあります。はたしてイシャトウは人間に化けて現れました。そこで長老から頼まれていたサービマートウイとイシャトウが対決をしたのであります。(そこで長老が示した物は一トン以上もある「大理石(マーイシ)でした。イシャトウが我先に「力石」を持ち上げようとするがびくともしません。次にサービマートウイが代わり、ゆつくりと力石を、頭上高く持ち上げるとイシャトウの足元にドスンと落しました。

☆ 力比べに使われたその石は「力石」といつても今でも供利の道路端にあるそうでもあります。さて、サービマートウイはますます島の英雄として崇められながら、茶花の野口金清氏の先祖の娘と結ばれて五人の子供をもうけ幸せに暮らしたそうでもあります。いまでも、野口家と山本家、野本家では毎年八月祭祀を大切に執り行っているとのことでもあります。

完

(資料提供)

竹内浩

(脚色)

嘉味田洋祐

鹿児島与論会歴代会長及び役員名一覧表

1	昭和2年	初代会長	竹下直宣	副会長	阿多川助	幹事長	武盛忠	
				顧問	野村政尚			
2	昭和13年～ 14年	2代会長	阿多川助	副会長	若松清助			
3	昭和21年5月	3代会長	本 恵三	副会長	高田福沢	柳田宏志		
					山下敏捷（24年4月から）			
		総務部長	末原清一	青年部長	伊藤文吉	体育部長	茶畑納森	
4	昭和29年1月	4代会長	山下敏捷					
		5代会長	不明					
		6代会長	猿渡 章	総務部長	末原清一（途中から）			本畑福秀
5	昭和38年	7代会長	林 健也					
6	昭和41年7月～ 42年5月	8代会長	山下敏捷	副会長	町富吉	池田福徳		
				総務部長	本畑福秀	会計部長		
				青年部長	南 仁忠			
7	昭和42年5月～ 43年5月	9代会長	山下平雄	副会長	児玉新二	横山原嶺		
				総務部長	本畑福秀	会計部長	山喜健司	
8	昭和43年5月～ 44年4月	10代会長	坂本久登美	副会長	不明			
9	昭和44年4月～ 45年5月	11代会長	西田豊作	副会長	町 本秀	本畑福秀		
10	昭和45年5月～ 46年5月	12代会長	竹下直人	副会長	不明			
11	昭和49年1月～ 49年5月	13代会長	町 富吉	副会長	池田福徳	本畑福秀		
				総務部長	喜山輝三	会計部長	大角田治	
				青年部長	喜村政富			
12	昭和49年5月～ 51年5月	14代会長	町 富吉	副会長	田畑欽三	西山高里		
				初代幹事長	喜山輝三	青年部長	港平安里	

13	昭和51年5月～ 53年5月	15代 会長	益田元甫	副会長 幹事長	田畑欽三 喜山輝三	西山高里
14	昭和53年5月～ 55年5月	16代 会長	児玉新二	副会長 幹事長	川畑村中 田畑欽三	田之上サチ
		17代 会長	児玉新二			
15	昭和57年5月～ 59年5月	18代 会長	田畑欽三	副会長 幹事長	高田慶光 大角田治	伊藤万砂子 (58年から川上哲三)
16	昭和59年5月～ 61年5月	19代 会長	児玉新一	副会長 幹事長	高田慶光 幾村清徳	幾村貞子
17	昭和61年5月～ 63年5月	20代 会長	児玉新一	副会長 幹事長 事務局長	川畑村中 幾村清徳 末原清一	有馬千代
18	昭和63年5月～	21代 会長	川畑村中	副会長 幹事長	田畑徳吉 幾村清徳	有馬千代
19	平成2年5月～	22代 会長	横山原嶺	副会長 幹事長	西山高里 幾村清徳	港フジエ
20	平成4年5月～	23代 会長	西山高里	副会長 幹事長	関糸村島 幾村清徳	江藤百合子
21	平成6年5月～ 8年5月	24代 会長	横山平安蔵	副会長 幹事長	西田瑞穂 幾村清徳	興美沙子
22	平成8年5月～ 10年5月	25代 会長	横山平安蔵	副会長 幹事長	西田瑞穂 幾村清徳	興美沙子
23	平成10年5月～ 12年5月	26代 会長	黒田晃正	副会長 幹事長	山下満雄 仁 光子 高橋 肇	林勢至 田畑榮次
24	平成12年5月～ 14年5月	27代 会長	西田瑞穂	副会長 幹事長	梅花重夫 高橋 肇	新里英子

- | | | | | | |
|----|-------------------|---------|------|-------|------------------|
| 25 | 平成14年5月～
16年5月 | 28代 会 長 | 池田利徳 | 副会長 | 田畑榮次 沖平一郎
仁光子 |
| | | | | 幹事長 | 高橋 肇 |
| 26 | 平成16年5月～
18年5月 | 29代 会 長 | 川上哲三 | 副会長 | 仁光子 酒匂泰三 川田繁吉 |
| | | | | 幹事長 | 高橋 肇 |
| 27 | 平成18年5月～
20年5月 | 30代 会 長 | 喜山輝三 | 副会長 | 山下満雄 仁 光子 |
| | | | | 幹事長 | 高橋 肇 |
| | | | | 総務部長 | 坂本哲郎 |
| | | | | 経理部長 | 嘉味田洋祐 |
| | | | | 青壮年部長 | 町永建身 |
| | | | | 女性部長 | 港フジエ |
| | | | | 演芸部長 | 遠矢節子 |

鹿兒島与論会役職名簿(平成 19 年 11 月現在)

役職名	氏名(出身)
会長	喜山輝三 (茶花)
副会長第 六 _七 支部長兼務	山下満雄 (那間)
副会長	仁光子 (西区)
幹事長	高橋 肇 (叶)
総務担当幹事	坂本哲郎 (足戸)
会計担当幹事第一支部長兼務	嘉味田洋祐 (茶花)
女性部担当幹事	港フジエ (城)
青年部担当幹事	町永建身 (茶花)
演芸担当幹事第九支部長兼務	遠矢節子 (立長)
第二支部長	林慶次郎 (茶花)
第三支部長	田畑博明 (西区)
第四支部長	出村立一 (立長)
第五支部長	梅花すみ子 (東区)
第六支部長	喜山弘充 (茶花)
第 七 _八 支部長	池田利徳 (足戸)
総務補佐	岩下政輝 (東区)
青年部補佐	竹井世匡 (東区)

ふるさと

^{うさぎ} 兎 追いし かの山

^{こぶな} 小鮒 釣りし かの川

夢は今も めぐりて

忘れがたき 故郷

^い ^か ^い 如何に在ます 父母

^{つつが} 恙なしや 友がき

雨に風に つけても

思い出ずる 故郷

志を はたして

いつの日にか 帰らん

山は青き 故郷

水は清き 故郷

開催日時	2007年10月28日
会場	岡山県立岡山第一高等学校
主催	岡山県立岡山第一高等学校
協賛	山下清一郎



創立80周年記念大運動会
の様子です